

せ ん

ぼ

通信

No.66

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「前へ」

2月22日 栃山神小学校・「閉校記念式典」
オープニング・全校生27名の最後の鼓笛演奏
「校歌とルパン三世」…思いは一つ…。

栃小ヒストリーは、146年前の創設から、卒業生のエピソードをつなぎながら発表されました。最後の「栃っ子」として頑張った一年間。特に6年生8名は、「最後の卒業生…」を背負い、先頭でがんばってくれました。そして、心と体に刻まれた思いを、27名全員が堂々と発表。それは、閉校の淋しさよりも、「谷田川小学校、守山中学校に行っても頑張ります」という、未来へ向かって進む、子供達のたくましさ…。エンディングは、校長先生指揮の校歌の合唱、二部合唱の校歌…初めてだったので、またまた涙目に…。終了後、やさしいミュージカルをみた後のような、温もりにつつまれました。校歌の練習の先生は？「校長先生だよ。声の出し方も…まままままままあーとか…」と。

11人の先生方…ありがとうございました。
27名の栃っ子…有終の美をありがとう。

閉校やあらたな舞台へ立つ瞳(ひとみ)

「明日ありと思う心のあだ桜夜半に嵐の吹かぬものかは」…親鸞。

(明日見ようと思っている桜が夜の嵐で散ってしまうかも…)コロナウイルスによる突然の「休校」でこの歌を思いだす。ひと晩で、学校生活が、ぶっ飛んだみたいで。重ねて思いだしたのが、9年前の「原発事故」。同じような時期に、同じように…突然学校に行けなくなった子供たち。友だちや先生とお別れ会もできないまま…学校に大切な物を残したまま…。それでも、たくましく成長しているニュースは、よそさまの子供さんでもうれしい…。それにしても、9年前と全く同じと、感じたのは、エライおじいさま達が、「素人集団のようにオロオロ…」しているように、みえたこと。

ピンピンコロリ…と、ネンネンコロリ…
おもしろそうだけど、子守唄じゃないですよ～。
ピンピンコロリは、
平均寿命と、健康寿命の差がみじかいこと。
ネンネンコロリは、
平均寿命と、健康寿命の差がながいこと。
調査の結果、いろいろな社会参加のうち、介護状態の発生が最も低かったのは、スポーツクラブへの参加だそうです。
体力にあった、適度な運動はいいんですね。
無理のない、畑の野菜作りなどは最高です。
血のめぐりはよくなるし…収穫のよろこびも。
ごめんなさい…私にはできませんが…。



先生方
の手
作
り
の
で
す

〒963-1245 郡山市田村町栃山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2020・3・1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail: kaikuu-0305@ezweb.ne.jp